

No. 1308

甦る民俗芸能

— 東京・神宮外苑 —

全国民俗芸能大会が2月3日東京、神宮外苑の日本青年館で行われました。この大会は文化庁が企画、昭和25年の第一回大会以来毎年行われ、今年で28回目。今年の大会には東北地方を代表して遠野青笹の獅子踊をはじめ全国から五つの民俗芸能が参加しました。三重県勝手神社の神事踊。これは西日本に多く見られる太鼓踊りの一種で、悪疫退散、国家安穩を祈る踊りです見事な踊りにつめかけた観客はしばし遠い昔の世界に引き込まれます。

次は岩手県遠野青笹の獅子踊。これは秋祭りに舞われるもので12頭の獅子が笛と太鼓に合わせて勇壮に踊る姿が特徴とされています。数多くある日本の民俗芸能はこうした人々によって大切に受け継がれています。

五つ子

かわいい誕生日

1月31日、東京太田区の山下頼充さん紀子さん夫妻の五つ子ちゃんが満3歳の誕生日を迎えました。5人とも見違えるような成長ぶりを見せ、毎日、母親の紀さんを相手に腕白ぶりを発揮しています。特に福太郎ちゃんと洋平ちゃんは兄弟げんかをして時々両親を困らせています。ますます元気な五つ子ちゃんです。

江川・巨人“サル芝居”

たかがプロ野球とは言うものの、江川・巨人トレード劇はスポーツ界を大きな社会問題にまでまきこんだ。

“デタラメ” “出来レース” “金” “協約無視” “裏取引” などの言葉が使われに球界のロッキード事件。

江川・巨人“サル芝居”のシナリオ。

昭和48年ドラフトで阪急が指名、これをケッて慶応大学を受験、失敗でやむなく法政へ。昭和52年大学通算47勝をあげ、ドラフトの目玉。がクラウンに指名され一年浪人。翌53年、ドラフト前日、巨人と契約。これがコミッショナーに認められず阪神が指名、そして、あとはメチャクチャ、シナリオも読めず。裁定とか、強い要望とか、協約は守るとか、アウンの呼吸とか……。主人公、江川は「僕は誰にも迷惑はかけていない。僕が契約しても誰も困らない」 “サル芝居” を観たファンの感想はいかがかな？